

6月市議会

日本共産党
市議団

市民のみなさんと力をあわせて.....

国保税の減免拡充、保育所の増設、幼稚園入園促進補助金の新設など実現！

小山中学校新築工事契約案件 反対多数で否決に

6月市議会に、「町田市小山中学校新築工事請負契約」に関わる3案件が提案され、最終日の本会議で否決（反対は、日本共産党、民主党・社民・ネット、志政クラブ、公明党の一部）されました。

町田市の工事請負契約は、2010年3月1日付のガイドラインの改正で、「市内業者優先」の観点で基準の引き下げがおこなわれたばかりです。

しかし、今回の小山中学校の契約案件は、直前におこなわれたガイドラインよりもさらに低い基準（工事实績は1／3→1／7、経審点は1150点→750点）に引き下げられ、本体工事21億円の予定価格に対して、3億円の工事实績しかない業者が落札しました。

文教社会常任委員会の審議のなかで、ガイドライン引き下げは「市内業者優先」「競争性の確保」を名目にして、市の理事者の「政治的判断」（副市長答弁）によっておこなわれたということも明らかにしました。

本会議で反対討論に立った日本共産党のとのむら健一市議は、●工事監理や監督員を常駐させないと安全性が確保できないこと（常駐させても安全性が確保できる根拠がないこと）、●市の理事者の政治的判断で基準が緩和されたこと、●市内業者優先といいながら下請けは市内業者とは限らないこと、●自治体が締結する契約は地域住民の生活と発達を目的とされなければならないこと——などを理由に反対しました。



とのむら健一
建設常任委員
TEL (793) 5458

地元の方のみなさんの念願である小山中学校の建設が、安全かつ公正におこなわれるように引き続き力をつくしていきます。



小山中学校建設予定地

国保税の市独自減免が拡充

病気、介護による「就労困難世帯」などに適用広がる

佐々木智子市議は、国保加入の低所得世帯に対する独自減免の拡充を求めました。

いきいき健康部長は、国民健康保険税減免取扱要綱を見直し、非自発的失業者（倒産や解雇などで離職をした方）への軽減に該当しない65歳以上の高齢受給資格者や、従来の国保加入者で非自発的失業に準じる世帯、病気や負傷、介護などで就労困難な世帯への新たな基準をつくり、市独自の軽減・減免を行うと答弁しました。

今年7月から、以下の用に減免の要項が見直されます。



佐々木とも子
文教社会常任委員長
TEL (793) 4137

〈就労困難世帯の基準〉例は2人世帯

基準となる項目	これまで	見直し後（今年7月から）
前年度課税総所得	113万円以下	185万円以下
今年度見込み所得	68万円以下	92万5千円以下
減免の条件	資産、保険料完納の条件あり	資産、保険料完納の条件はすす

※詳しくは、納付書と一緒に送られた「国保ガイド」をごらんください。

「保育所に入らず仕事をやめた」 市民の声取り上げ、 390人分の認可保育所増設

6月補正予算では、「20年間期間限定認可保育所」の新設（改修型）6園、認可保育所の分園2園、増築2園（2011年度4月オープン）など、合計で390人分の定員増を実現することができました。

2010年度4月1日現在、待機児童数は248人。昨年度の417人から169人の減少となりました。しかし、新規の申込者は前年度よりも326人増となっています。なかでも、3歳未満児（0～2歳）の待機児童は、全体の88%と高い水準です。

池川友一市議が、6月議会の一般質問のなかで、「1つの家庭で3つの保育所に通わせている」「保育所に入らず仕事を辞めた」などの実態も示しながら、「待機児童ゼロに向けて認可保育所の増設をすすめ、特に3歳未満児対策にとりくむべきだ」と求めたのに対し、「新設、分園、増築で対応していきたい」と答弁がありました。

日本共産党市議団は、引き続き市議会内外で「待機児童ゼロ」を実現するために奮闘していきます。



池川友一
文教社会常任委員
TEL (734) 1116

新設（改修型） 20年間期間限定認可保育所	定員53人×6園	318人
分園	定員26人×2園	52人
増築	定員10人×2園	20人
合計		390人

学校の「快適トイレ」が整備されます 今年度は中学校1校小学校4校で

小中学校の3K（くさい、汚い、暗い）トイレについて、細野龍子市議が快適トイレの整備計画を提案してきました。これまで、大規模改修でしかできなかったトイレの改修が、「学校施設リファインプラン」として独自に計画化されました。今年度は鶴川2小、小山小、鶴間小、金井小、真光寺中5校分トイレ改修設計予算、630万円が盛り込まれました。洋式便器を増やしたり、においをなくすため配管をとりかえたり、省エネや節水にも配慮し、快適なトイレに改善されます。引き続き、子どもたちが気持ちよく使えるトイレの整備を、早急に進めるよう求めています。



細野りゅう子
健康福祉常任委員
TEL (796) 8163

日本共産党市議団が、一般質問や市長交渉などで市民のみなさんと切実な要求の実現に取り組む中、国民健康保険税の市独自の減免制度を大幅に改善させることができました。また、6月議会の一般会計補正予算に、保育所の増設や幼稚園入園費補助金の増額、小中学校のトイレ改修、3人乗り自転車の増車などを盛り込ませることができました。



好評な三人乗り自転車

無料法律相談
のご案内

●8月11日(水) ●8月25日(水)
市役所5階、日本共産党控え室
要予約ですので、事前に市議会議員もしくは
党地区事務所(723)6312に申し込みを。